

[通常機体] ク X 「クロスボーン・ガンダム」

## クロスボーン・ガンダム 1号機

機体名	クロスボーン・ガンダム 1号機	画像
型式番号	XM-X1 (F-97)	
英語名		
所属	新クロスボーン・バンガード	
パイロット	キンケドゥ・ナウ	
装甲材質		
装備	頭部バルカン×2 ビームサーベル×2 ヒート・ダガー×2 シザー・アンカー×2 <u>ブランド</u> マーカー (ビーム・シールド)×2 バスターガン×1 (ザンバスター×1) アンチビーム・コーティングマント×1 ショットランサー (GUNDAM FIX FIGURATION のみの装備)	
作品名	機動戦士ガンダム	
参考書籍		

### 内容

新クロスボーンバンガードの試作型 MS。

サナリィ系ガンダム「Fシリーズ」の発展型であり、木星の重力圏下での運用を想定して開発された機体である。

なおサナリィでの型式番号は「F-97」。

最大の特徴は背部に設置された X 字形の可動式スラスターで、メインスラスターそのものを動かすことで姿勢制御を行なうという、独特のシステムを用いている。

武装は海賊軍の戦闘思想が反映され極端に接近戦に比重を置いており、多機能型ビームライフルや攻防両用のビームシールドなど独特のものが多い。

また耐ビームコーティング・マント (アンチ・ビーム・コーティング・マント) を装着することも可能で、総合的に見れば U.C.0130 年代最強の MS だといえる。

試作機 3 機が実戦テストのため、秘密裏に新クロスボーン軍へ供与された。

本機は試作 1 号機で、木星戦役を通じて新クロスボーン軍の主戦力として戦い抜いている。

### 備考

額の髑髏マークの発案者はウモン。

### スペック

項目	内容
頭頂高	15.9m
全高	
本体重量	9.5t

全備重量	24.8t
ジェネレーター出力	5280kw
スラスター総推進力	100000
アポジモーター数	38
センサー有効半径	